みんなの広場

▲今年も好評だった「ところざわ・旬の市」。天候にも恵まれて大勢の人でにぎわいました。
5月12日㈯・13日㈰／所沢駅東口～くすのきホール

▲深緑に囲まれた自然の中で行われた子ども写生大会。思い思いの題材を夢中になって描いていました。
4月28日㈯／西武園ゆうえんち

▲カバティーを知っていますか？結構ハードなスポーツなんですよ。人間科学部デー『カバティー教室』。
5月18日㈮～20日㈰／早稲田大学所沢キャンパス

ご覧ください

テレビ埼玉

●所沢リポート

6月22日㈮／①午後5時30分～40分②午後10時15分～25分放映
『IT（情報通信技術）講習』
シティケーブルネット

●広報ところざわ テレビ情報館

6月21日㈭～／①午後1時55分～2時②午後9時55分～10時放映

広報テレビ番組

●譲ります ▽ベビーバス▽百科事典一式▽レコードプレーヤー▽カセットデッキ▽ベビー整理ダンス（135cm×88cm×44cm）▽マットレス2枚▽布団乾燥機

●求めます ▽ベビーカー▽テレビ▽全自動洗濯機▽冷蔵庫▽シューズボックス

受付方法　電話による先着順で紹介します。5日が休館日の場合、翌日からになります。

利用者は、所沢市民に限ります。

休館日　月曜日、祝休日

【申し込み・問い合わせ】
リサイクルふれあい館（東所沢和田2-23-6／☎944-0008）

リサイクルふれあい館 不用品ガイド

テーマ〝宿題〟

▲駅前茶園で新芽を8kg収穫。この新芽を天ぷらにしてもおいしいんですよ。第6回所沢新茶まつり。
4月27日㈮／航空公園駅前・市役所

▶「街かどズームイン」では皆さんからの街角情報を募集中▶はがきで「うちの近所でこんなことやります」といった情報をお寄せください（電話不可）▶採用の場合は事前に連絡します▶「誰でもエッセイ」ではテーマにそった投稿を募集▶はがきに300字以内で▶文章は添削あり▶掲載者には記念品進呈▶次回のテーマは「いやされる時」▶心をいやしてくれるのは植物であったり人であったり音楽であったり▶皆さんがいやされる時はどんな時ですか▶締め切りは6月15日㈮必着▶いずれも住所、氏名、年齢、電話番号を明記▶送り先：〒359-8501・並木1-1-1所沢市役所広報広聴課「みんなの広場」係

自分の顔に責任を

下安松・川北　肇

子どものころ、父に40歳過ぎたら自分の顔に自分で責任を持てと言われたことがある。鏡をのぞいてみる。穏やかだが特徴のない平凡な顔がそこにある。

少年のころ、あこがれた眉目秀麗・意志強固な目と口元・理知的な顔立ちとはおよそ縁遠い顔だ。

自分の人生を振り返ると、やはりそのような勉強、そのような生き様はしてこなかったのだと思う。父の宿題は難しかったなとほろ苦い気持ちを抱きながら鏡の前を離れた。

大人はいいな

花園・二木　順子

学校の宿題は、得意な教科のときはいいけれど、苦手な教科のときはうんざり。父にしかられながら宿題をやった小学生のころ。

孫の〝ほたが〟は、算数が大好きで「今日は簡単だったので学校でやってきちゃった」と時々言う。でも、国語は少々苦手で机の前で考え込んでいてはかどらないこともある。

先日は、「大人はいいな、宿題が無くて」と一言。

「でもね、父さんや母さんは、ほっくんたちを育てる大事な宿題があり、おばあちゃんには大きいおじいちゃんやおばあちゃんが病気になったときのお世話をする宿題があるのよ。ほっくんの宿題は解けても、おばあちゃんの宿題はなかなか解けないの」と話した。

「でも、大変だけどがんばるからね」と言ったら、「そのときは、ほたかもお手伝いしてあげるよ」の一言にホロッとさせられた。

得意料理を増やそう

久米・立山　礼子

料理の苦手な私にとって夕飯の献立を考えるのは毎日続く「宿題」そのもの。肉、魚、それとも…？

迷いに迷ってスーパーの売り場を行ったり来たり。

主人に「今日は遅くなるから外で食べる」と言われるとうれしい。けれど顔には出さない。

煮物・揚げ物が得意な母には、「手抜き主婦」と呼ばれるけど、ゆで立てスパゲティにバターをまぶし、昆布茶を隠し味にふりかけ、青じその千切りをからめて食べるのが最近の我が家のヒット。

父にも、「(使い込んでない)きれいな台所だなあ」と感心（？）されている。そのくせ、「欠け・鼻・割り鼻」は得意なので、食器棚には「不ぞろいのお皿たち」が所狭しと重なっている。

苦手だけど嫌いではないので、得意料理を一つずつ増やして「宿題」をやっつけよう！

あの坂

若狭・井上　美恵子

ある絵画展へいったら「坂」を描いた絵が4点あった。興味が湧いていつか訪ねてみようと坂の住所をメモしておいた。やがて、そのいつかがやって来た。

地図を見ながらきょろきょろと歩く。所々にある「住居表示」や「街区案内図」は私の羅針盤だ。一つ一つ探し当てたときの気持ちは「やった！」の一言。

残りの一つが問題だった。近くまで行ったら広範囲に開発工事をしている。多分、この辺りのわき道を入ってかな？工事をしている人に尋ねた。「○○坂は無くなったよ。この中だよ」と。1年前に無くなったとか。そういえば来る途中、「○○寺は無くなりました」と書かれていたっけ。お寺もお墓も坂も形が無くなったのだ。

〝遅かりし由良之助〟の心境だった。人は見られないから見たくなるのだ。せめて、もう一度あの坂を描いた絵が見たい。

今も昔も

東狭山ヶ丘・森田　れい

30年来の友がひさしぶりに会いに来てくれた。

彼女は、今、宝塚に夢中でファンクラブにも入り、チケットを1枚手に入れるのがどんなに困難か楽しそうに訴えた。

連休前には、フランスへ社会人となった娘と行って来たばかりで、来月はカナダへ行きたいと言う。お互い結婚して20～25年。今の生活をあれこれ言ってみたところで、結局はやりたいことをやっている。「自分の人生をハッピーだと思いたいよね」という結論に達した。

私も、子どもが高校を卒業するのを一つの区切りと考え、心待ちにしている。時々、その後をどう生きるのか、どう生きたいのか考えていると眠れなくなってくる。

それって高校生だったころ、自分の人生について思い悩み、もんもんとしていたのと同じだと気づいた。これって生きている限り続く永遠の宿題なのね……。

心は豊かに

並木・斎藤　志津子

毎日の殺伐としたニュースに気分も暗くなる。そのときは、幼児期の父母の腕の温かさに思いをはせる。特別しつけもなかったけれど、心の栄養を十分取ることができたことに感謝している。

大きな動物は馬から、小さな鳥にいたるまで、エサをやるのが子どもたちに与えられた毎日の宿題でした。私は末っ子なので、ウサギと話をしながら網の間から草を2、3本ずつ差し入れていたように記憶している。

見渡すと自然も少なくなってしまったけれど、心は豊かに育ってほしい。自分は子どもたちに何ができるだろう。手のひらサイズでいいから「良い宿題」を与えることができたらと思う。

次回のテーマは「いやされる時」です

はつらつ ところ野老っ子

良い人生

東狭山ヶ丘・加藤　富美子

皇太子妃雅子様がご結婚をお決めになったときおっしゃったお言葉は、同世代の私たちに大きな影響を与えました。そのお言葉は、「人生の最後に『ああ、良い人生だった』と言えるようにしたい」というものでした。

私の尊敬する先輩は、この言葉で離婚を思いとどまり、前向きに人生を考えるようになりました。

いったい、良い人生とはどういう人生なのでしょうか？その答えは人それぞれでしょう。私が人生の最後に「ああ、良い人生だった」と言えるようにするにはどうしたらよいのかっ？これが私の宿題です。今はただ、できることを精一杯するだけですが。

遊びに夢中

久米・井原　喜一郎

宿題でまず思い出すのは、小学生のときの夏休みに出される宿題です。国語や算数などのほかに工作がありました。

一銭、二銭という小遣いをもらいながら作るのですから、何が買えて何ができるか苦心惨たんです。

できそうな物は、木製の本立て、門柱につけるポスト、輪ゴムが動力の船、貯金箱くらいです。

しかし、夕方暗くなるまでトンボ捕り、セミ捕り、あるいは竹馬・ベイゴマ・メンチ等々、遊びには事欠きません。ついつい宿題は二の次で、新学期は目前です。

母親に毎日のようにしかられたのを覚えています。今思うと懐かしさでいっぱいです。

当時、何とか終わらせた宿題ですが、卒業式の無い人生の宿題はいまだ終わっていないような気がします。

所沢北高校・ラグビー部

おめでとう！関東高校ラグビー大会出場

5月3日、関東高校ラグビー大会に出場する4校が決まりました。その中の1校である所沢北高校は、関東大会出場は2年ぶり2度目。昨年の大会で逆転負けを喫した浦和高校との雪辱戦で、見事勝利を収めての関東大会出場です。その瞬間、選手たちは抱き合って「秋の悔しさを晴らせた」と感激したそうです。

所沢北高校ラグビー部は、部員数55人。主将を含め、ラグビー経験者はわずか。中学時代は、それぞれ野球やサッカーなどをやっていたそうです。そんな彼らの入部のきっかけは、先輩たちからの勧誘でした。しかし、今では部員みんながラグビーを楽しんでいます。

今回、取材に応じてくれた主将の大畑くんと副主将の清水くんは、昨年の秋から大役を任されています。監督と部員のつなぎ役をしたり、練習メニューを考えたり、辞めたいと言う部員を説得したりと大忙しです。しかし、「練習はきついけど、そのあとみんなでワイワイさわいでいる時は楽しいんです」と主将が付け加えてくれました。

関東大会での目標を聞いてみたところ、「2年前はブロック優勝をしていますので、今回もブロック優勝を狙っています」と自信満々で答えてくれました。

「ラグビーというスポーツは、名前は良く知られているのですが今ひとつ人気がありません。もっともっと知ってもらって世間一般に広めたいので、一度練習や試合を見に来てください」とは監督の佐藤先生の弁。

5月3日の対浦和高校戦

「先輩たちが築いてきた伝統をこれからも引き継いで、さらに強くなってほしい」と主将の大畑くんから次代を担う後輩たちへの一言もありました。また、「これから秋に向けていろいろな大会があるので、健康に気を付けてがんばって！」とマネージャーも応援しています。

連戦連勝に向け、地元北高を応援しましょう。

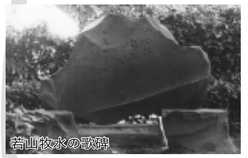
◎6月2日㈯・3日㈰に群馬県草津町で開催された関東大会に先立って取材しました。

Tokorozawa ものしりウォーキング ⑭

若山牧水の歌碑 神米金

下富交差点近くには若山牧水の歌碑があります。ちょうど、交差点の手前にある八雲神社のわきを入って行くと見学できます。

牧水は宮崎県出身ですが、祖父の若山健海は現在の所沢市神米金で生まれました。早稲田大学に入った牧水は、在学中に祖父の生家を何度か訪ねています。歌碑は、牧水の没後50年にあたる昭和53年に建てられました。



若山牧水の歌碑

牧水の祖父健海は、医師を目指して長崎で学び、その後宮崎県の坪谷村（東郷町坪谷）で医院を開業しました。健海は牧水が3歳のときに他界しましたが、上京した牧水は祖父を懐かしんでこの地を訪れたといいます。

牧水の日記には、明治37年（1904）4月22日、市ヶ谷発の汽車に乗って国分寺で乗りかえ、所沢で下車して2里ほど歩いて着いたことが記されています。

当時は富岡村字神米金でした。「神米金（かめがね）」の地名は、明治8年に、神谷新田、久米新田、堀金（兼）新田の3つの村が合併したとき、それぞれの村名から一文字をとったものです。

畑と雑木林が広がるぼう漠とした光景。牧水の「おもいでの記」には「こんな所から自分の祖父は生まれたのかと思うと、妙に遥かな思いが湧いてならなかった」とあります。所沢から歩いてきた牧水は、すっかり喉が渇いたらしく、道端にあった井戸の水を飲んで一息ついてから家に入ったそうです。神米金では、祖父のいとこや知人が健在で、健海の話や学問の話で牧水を放さなかったといいます。

さて、碑面には、次のような歌が刻まれています。

のむ湯にも焚火の煙匂いたる　山家の冬のゆふけなりけり

この歌は『渓谷集』（大正7年刊行）の「秩父の秋」に収められた一首で、残念ながら所沢でつくられた歌ではありません。しかし、のびやかでほのぼのとした筆跡は、機械彫りながら牧水のものです。牧水自身の筆跡になる歌碑は全国的にもめずらしく、埼玉県内でも5基あるなかで神米金のものだけだということです。

歌碑を眺めながら、牧水が訪ねてきたときのことを想像してみてはいかがでしょう。

昭和43年ごろの神米金